

直轄工事における総合評価落札方式等の実施状況 【令和2年度実績】



国土交通省

国土技術政策総合研究所

National Institute for Land and Infrastructure Management

国土交通省の地方整備局が令和元年度に契約した工事は、一般競争入札、指名競争入札、随意契約含め合計8,605件となっている。(※1) 国土交通省の直轄工事では平成17年に施行された「公共工事の品質確保の促進に関する法律」を受け、総合評価落札方式を適用することにより公共工事の品質確保を図っており、この総合評価落札方式を適用した工事についてこれまでの経年状況と併せて概観するために、令和2年度年次報告として実施状況を整理した。(※2)

1. 総合評価落札方式の適用状況

- 令和2年度の総合評価落札方式適用率(※3)は件数ベースで97.4%、金額ベースで98.2%。(P1～2)
- 令和2年度の総合評価落札方式の適用状況のうち、各契約タイプにおける内訳は件数ベースで施工能力評価型(Ⅱ型)が79.0%で最も多く、同(Ⅰ型)が16.2%、技術提案評価型(S型)が4.8%。金額ベースで施工能力評価型(Ⅱ型)が57.2%、同(Ⅰ型)が15.9%、技術提案評価型(S型)が26.9%。(P3～4)

2. 競争の程度の状況

- 1工事あたりの競争参加者数は施工能力評価型で5.5者、技術提案評価型(S型)で7.3者であり、一転して増加。WTO技術提案評価型(S型)(※4)については、1工事あたりの競争参加者数は14.7者で前年度より増加。(P5)

3. 落札率、入札率の状況

- 令和2年度の平均入札率について、落札者は93.2%であり、前年度から横ばい。非落札者は94.8%であり、前年度から減少。(P8)

4. 技術評価の状況

- 技術評価点1位と2位の得点差は技術提案評価型(S型)で平均1.4%、施工能力評価型Ⅰ型・Ⅱ型それぞれ平均2.3%・2.4%、WTO技術提案評価型(S型)は1.2%であり、WTO技術提案評価型(S型)が最も小さい。(P11)

5. 総合評価の特徴

- 落札者に占める技術評価点の最高得点者の割合は、施工能力評価型で令和2年度は87%であり、前年度から微減。技術提案評価型(S型)で94%であり、前年度より上昇。(P15～16)

6. 総合評価の導入と工事成績評定点

- 工事成績評定点の平均は施工能力評価型(Ⅰ・Ⅱ型)で79.0点、技術提案評価型(S型)(WTO含む)で78.6点。(P19)

(※1) 国土交通省直轄工事等契約関係資料 令和2年度版(令和元年度実績)より 国土交通省の8地方整備局の契約工事で、港湾・空港関係の工事を含む。

(※2) 当年次報告は総合評価落札方式の実施状況について経年変化を見るために分析を行ったもので、随意契約等の契約方式については対象としていない。

(※3) 総合評価落札方式実施数/契約数(総合評価落札方式+価格競争)により算出している。

(※4) 「WTO技術提案評価型(S型)」は、技術提案評価型(S型)のうち、WTO対象額以上の工事を示す。

1. 総合評価落札方式の適用状況	1
2. 競争の程度の状況	5
3. 落札率・入札率の状況	7
4. 技術評価の状況	11
5. 総合評価の特徴	15
6. 総合評価の導入と工事成績評定点	19

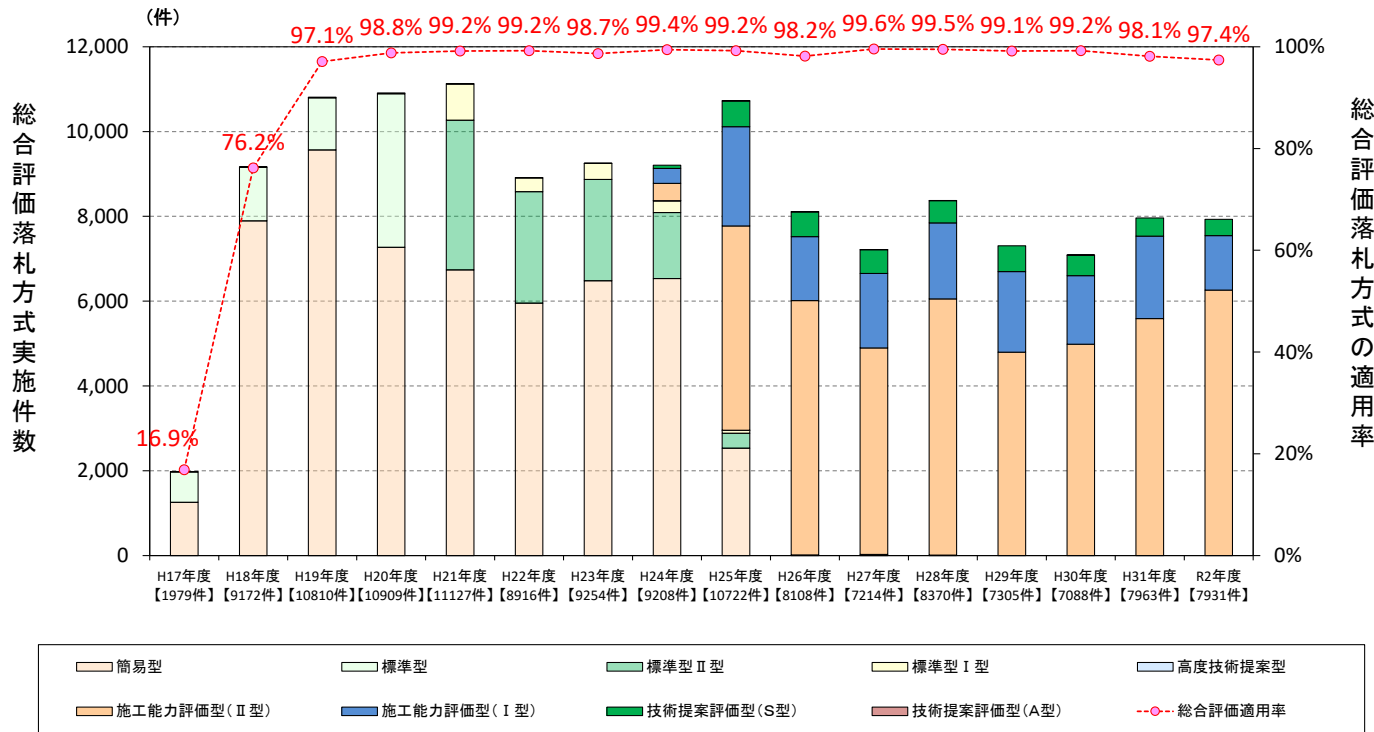
1. 総合評価落札方式の適用状況

(1) 総合評価落札方式適用件数、金額〔経年の推移〕

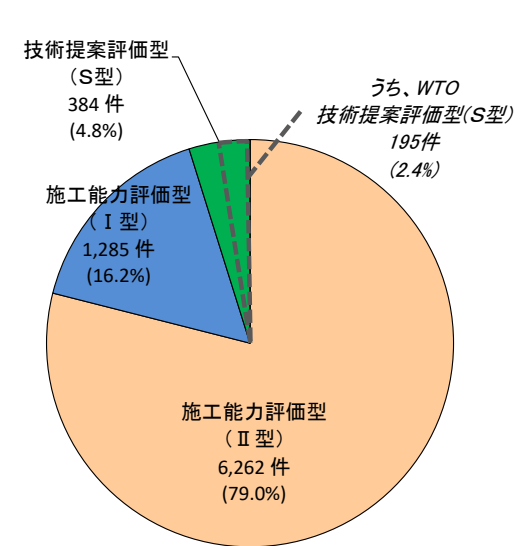
① 実施件数

- 令和2年の総合評価落札方式適用率^(注2)は件数ベースで97.4%となっている。
- 各契約タイプにおける内訳は、施工能力評価型(Ⅱ型)が件数79.0%、金額57.2%と最も多く、同様に同(Ⅰ型)が16.2%、15.9%、技術提案評価型(S型)が4.8%、26.9%となっている。

【実施件数(平成17年度～令和2年度)】



【件数シェア(令和2年度)】



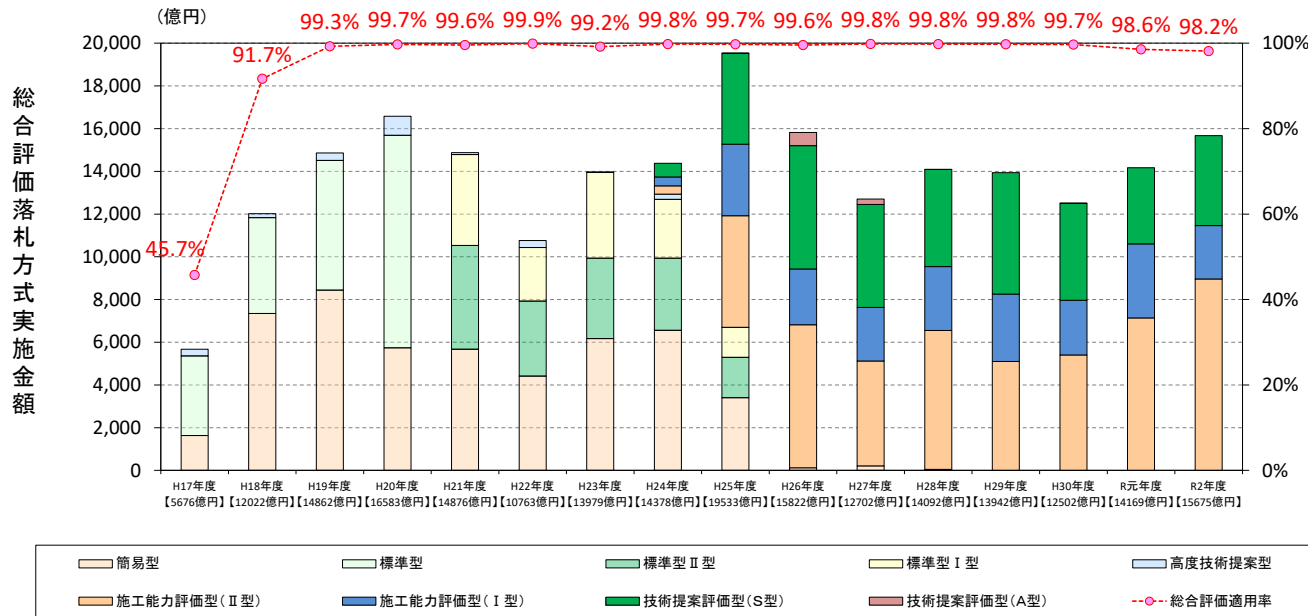
注1) 8地方整備局の工事を対象(港湾・空港関係工事を含む)
 注2) 適用率は随意契約を除く全発注工事件数に対する総合評価落札方式実施件数の割合
 注3) 令和2年度は上記の他、価格競争による工事213件の契約を締結

1. 総合評価落札方式の適用状況

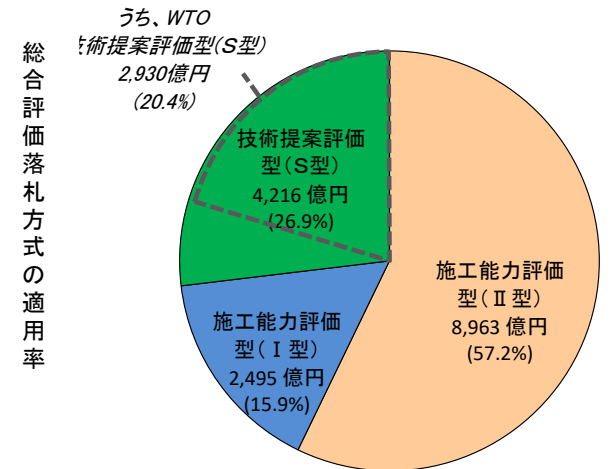
②実施金額（契約額）

- 令和2年度の総合評価落札方式適用率は金額ベースで98.2%となっている。
- 各契約タイプにおける金額ベースの内訳は、施工能力評価型（Ⅱ型）が57.2%、技術提案評価型（S型）が26.9%となっている。

【実施金額（平成17年度～令和2年度）】



【金額シェア（令和2年度）】



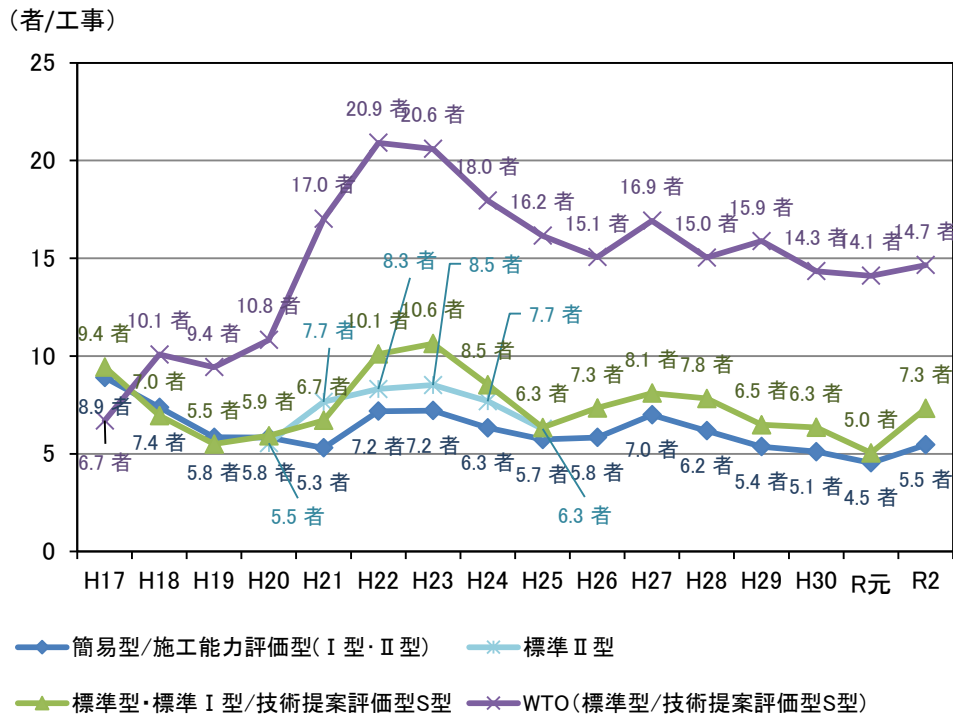
注1) 8地方整備局の工事を対象（港湾・空港関係工事を含む）
 注2) 適用率は随意契約を除く全発注工事金額に対する総合評価落札方式実施金額の割合
 注3) 実施金額は契約額（税抜）
 注4) 令和2年度は上記の他、価格競争による293億円（213件）の工事の契約を締結

2. 競争の程度の状況

(1) 1工事あたりの競争参加者数〔経年の推移〕

- 1工事あたりの競争参加者数は、施工能力評価型で5.5者、技術提案評価型(S型)で7.3者となっており、昨年度までの傾向から一転して増加に転じた。
- WTO技術提案評価型(S型)の令和2年度の1工事あたりの競争参加者数は14.7者で前年度より増加している。

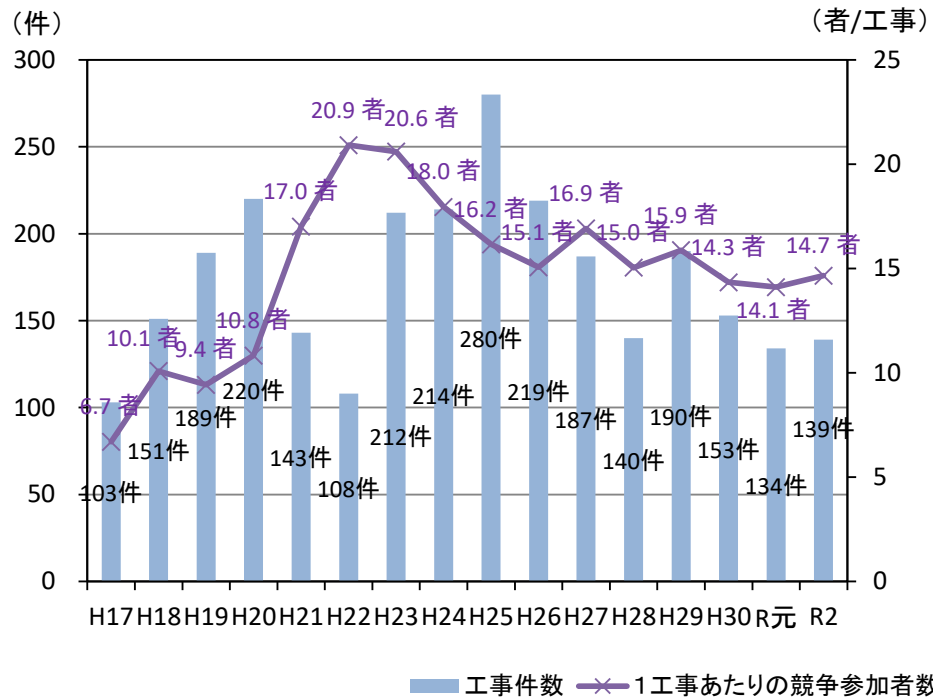
【 1工事あたりの競争参加者数 】



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象
 ・港湾・空港関係工事 ・価格競争 ・高度技術提案型/技術提案評価型A型
 ・加算方式の試行工事(平成19年度)
 注2) 平成22年度以前の競争参加者数は7地方整備局で集計

【 工事件数の推移と1工事あたりの競争参加者数 】

(WTO標準型/WTO技術提案評価型S型)



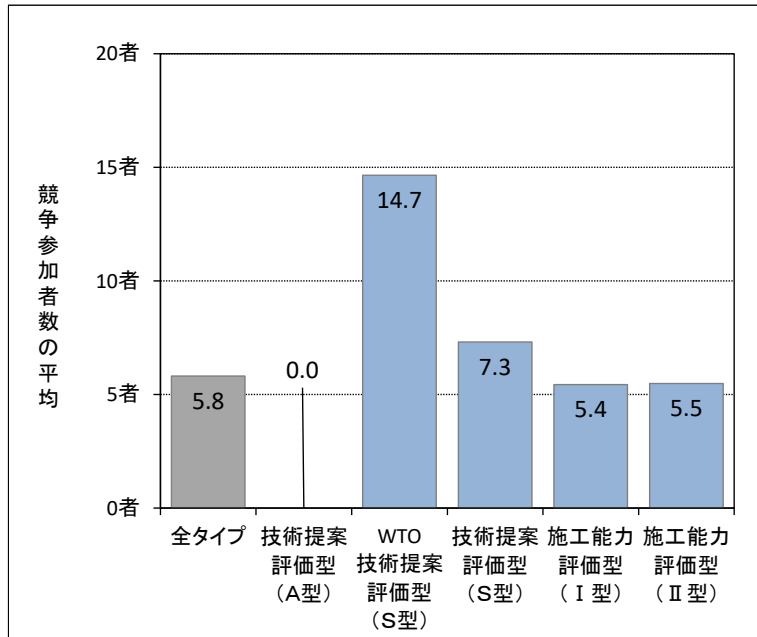
注3) 競争参加者数には無効・辞退等及び予定価格超過者を含む。
 注4) 「WTO(標準型)」は、標準I型、標準II型のうちWTO対象額以上の工事、「WTO技術提案評価型(S型)」は、技術提案評価型(S型)のうちWTO対象額以上の工事を示す。(以後、同様)

2. 競争の程度の状況

(2) 契約タイプ別、工事種別別の競争参加状況〔令和2年度〕

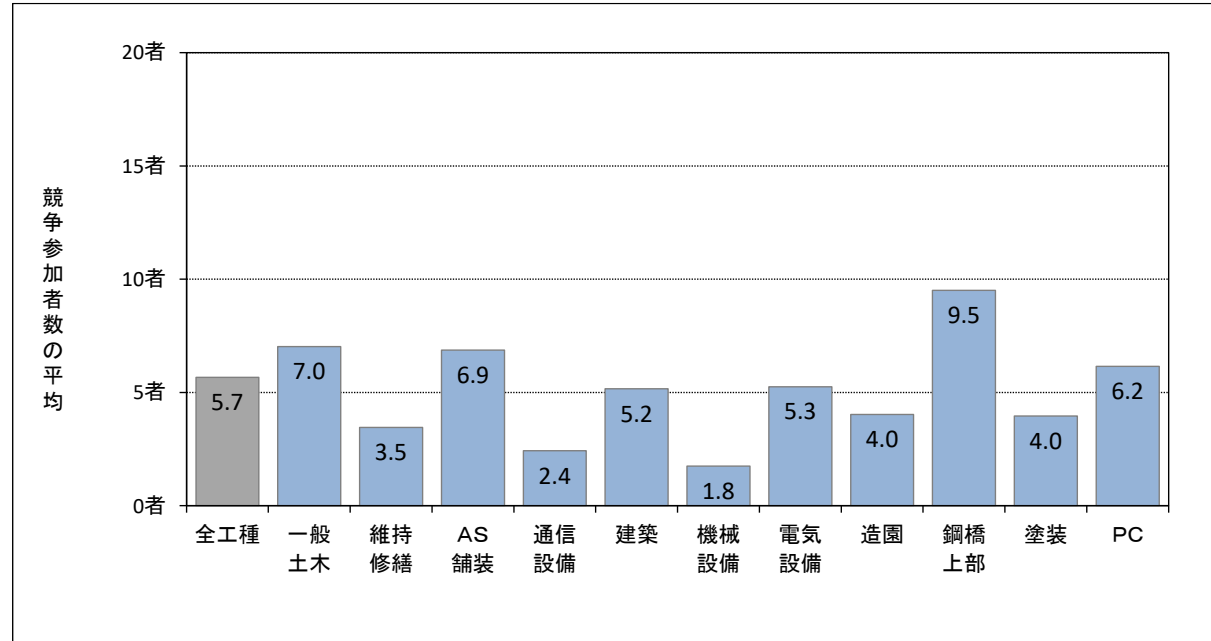
- 総合評価の契約タイプ別では、WTO技術提案評価型(S型)では平均14.7者と多くなっている。また、その他のタイプでは、平均5~7者となっている。
- 工事種別別では、一般土木は平均7.0者、AS舗装で6.9者、鋼橋上部で9.5者と多くなっている。

【 契約タイプ別・競争参加者数の平均 】



※ 技術提案評価型(A型)の工事はなし

【 工事種別別・競争参加者数の平均 】



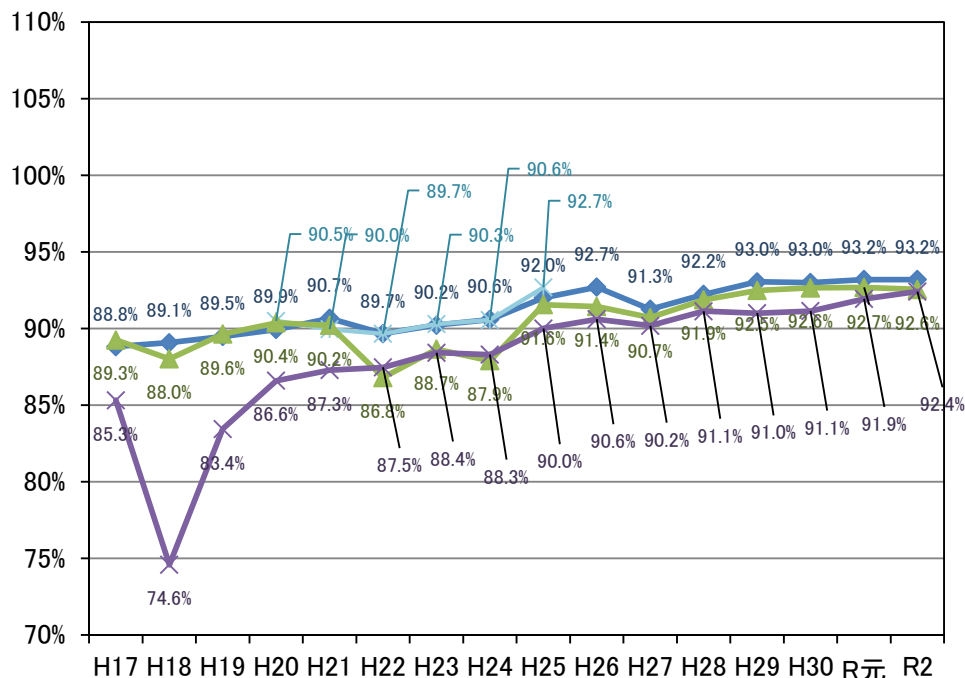
注1) 8地方整備局の工事のうち、港湾・空港関係を除く工事を対象
注2) 競争参加者数には、無効・辞退等及び予定価格超過者を含む。

3. 落札率・入札率の状況

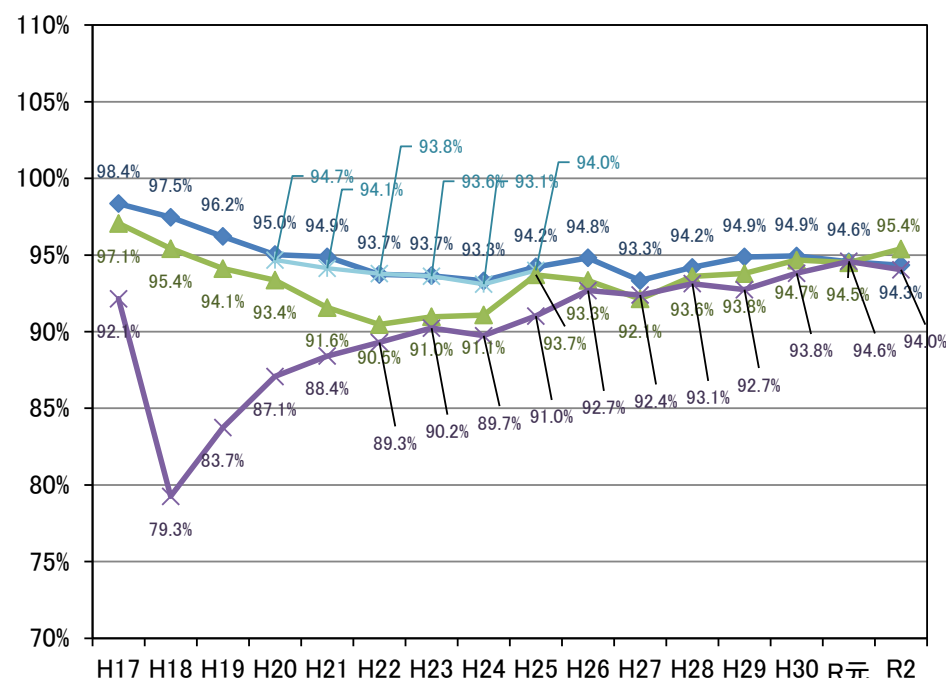
(1) 平均落札率・平均入札率

- 平均落札率は、施工能力評価型(I型・II型)が93.2%、技術提案評価型(S型)が92.6%と前年から横ばい、WTO技術提案評価型(S型)が92.4%と前年よりも微増している。
- 平均入札率は、施工能力評価型(I型・II型)が94.3%と前年から微減、技術提案評価型(S型)が95.4%と前年から微増、WTO技術提案評価型(S型)は94.0%と前年から微減している。

【落札率】



【入札率】



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象
・港湾・空港関係工事 ・価格競争 ・高度技術提案型/技術提案評価型A型 ・加算方式の試行工事(平成19年度)

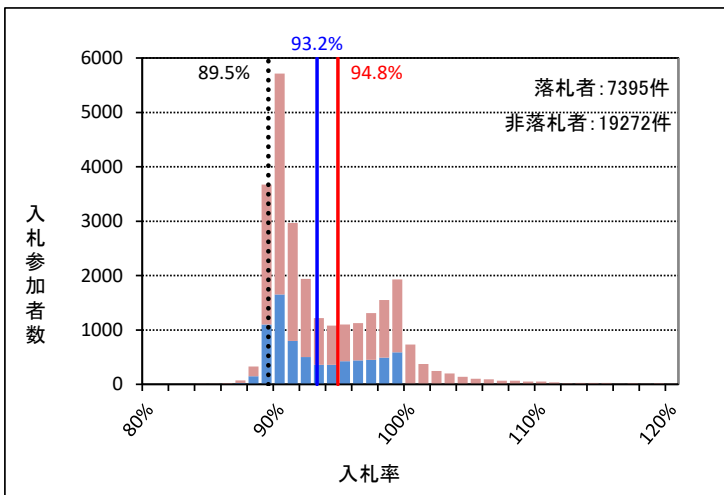
注2) 落札率は「落札価格÷予定価格」の工事平均、入札率は「入札価格÷予定価格」の入札参加者平均を算出

3. 落札率・入札率の状況

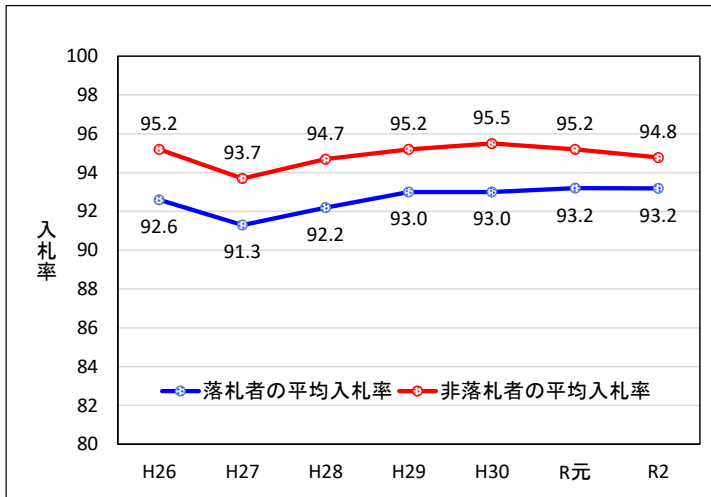
(2) 入札率の分布〔経年変化〕

■ 入札率の分布は調査基準価格付近で多く、落札者の平均入札率は令和2年度に93.2%で令和元年度から横ばい、非落札者の平均入札率は同94.8%で0.6%減少している。

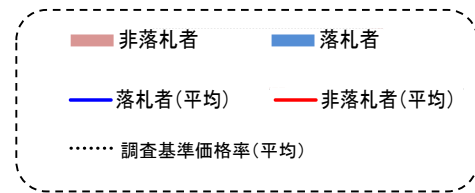
【令和2年度】



【平均入札率の経年変化】

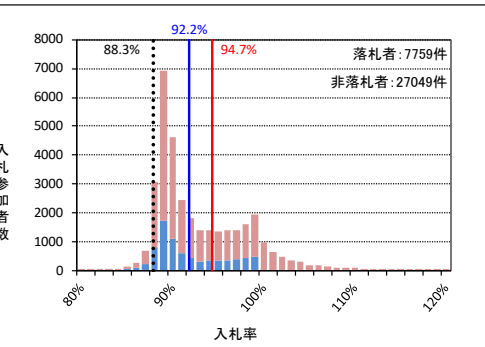


〔凡例〕

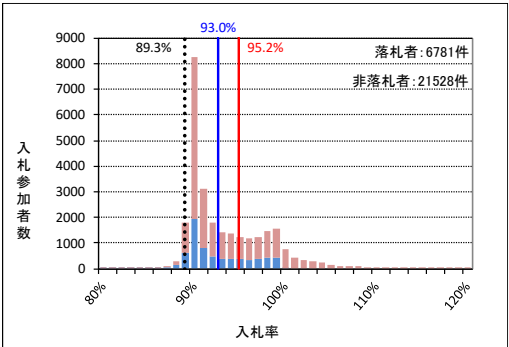


注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象
 ・港湾・空港関係工事 ・価格競争
 ・調査基準価格が設定されていない工事
 注2) 入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除く。
 注3) 「調査基準価格率」とは、調査基準価格を予定価格で除して算出した数値

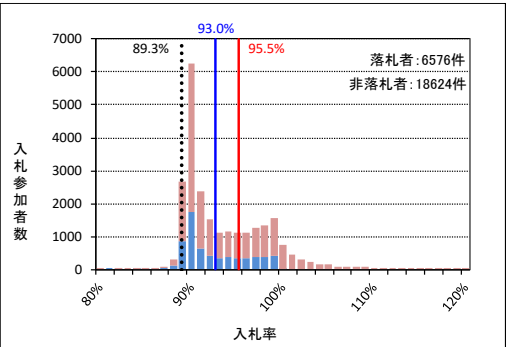
【平成28年度】



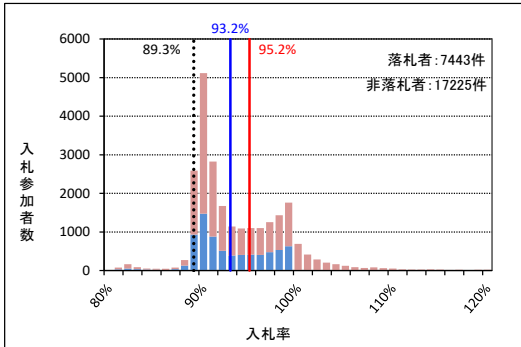
【平成29年度】



【平成30年度】



【令和元年度】



3. 落札率・入札率の状況

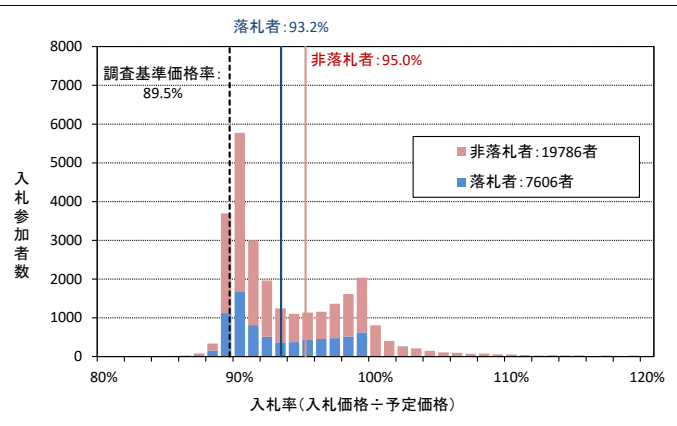
(3) 入札率の分布〔令和2年度〕

① 工事種別別

- 一般土木、AS舗装、鋼橋上部、PC、維持修繕では、入札率の分布が調査基準価格付近に集中している。
- 機械設備では、予定価格付近に集中している。

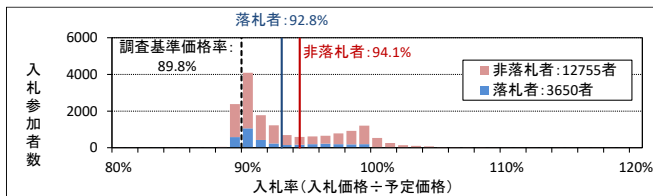
〔全工事種別〕

工事件数: 7,606件
平均工事規模(予定価格): 217百万円
平均入札参加者数: 3.6者



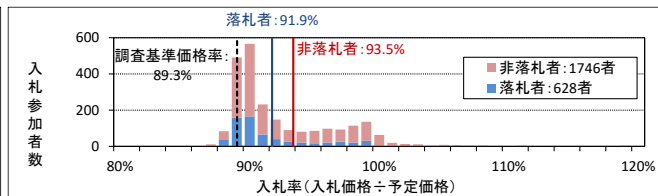
〔一般土木〕

工事件数: 3,650件
平均工事規模(予定価格): 278百万円
平均入札参加者数: 4.5者



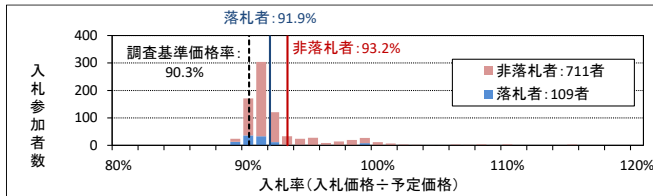
〔AS舗装〕

工事件数: 628件
平均工事規模(予定価格): 177百万円
平均入札参加者数: 3.8者



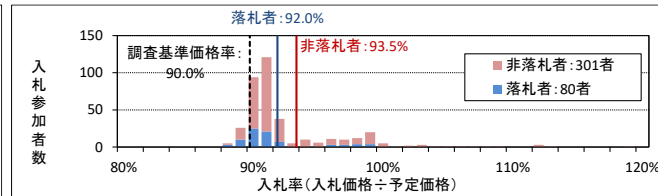
〔鋼橋上部〕

工事件数: 109件
平均工事規模(予定価格): 601百万円
平均入札参加者数: 7.5者



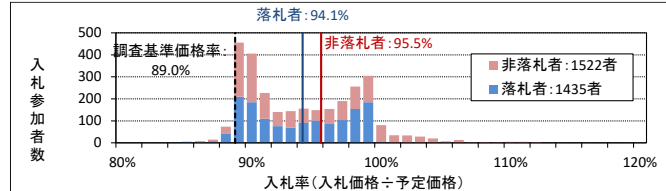
〔PC〕

工事件数: 80件
平均工事規模(予定価格): 393百万円
平均入札参加者数: 4.8者



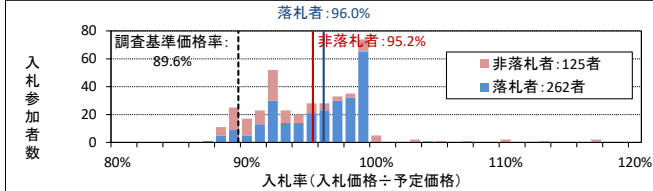
〔維持修繕〕

工事件数: 1,435件
平均工事規模(予定価格): 144百万円
平均入札参加者数: 2.1者



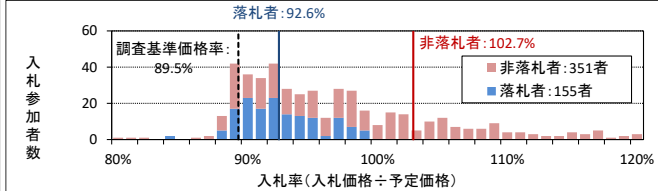
〔機械設備〕

工事件数: 262件
平均工事規模(予定価格): 141百万円
平均入札参加者数: 1.5者



〔電気設備〕

工事件数: 155件
平均工事規模(予定価格): 129百万円
平均入札参加者数: 3.2者



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象
・港湾・空港関係工事
・価格競争
・調査基準価格が設定されていない工事

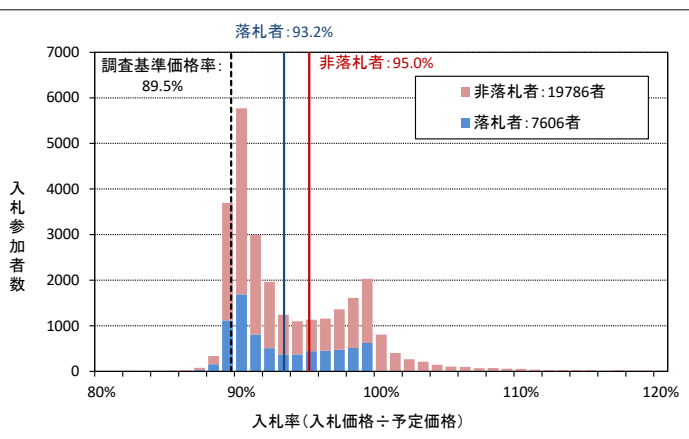
注2) 入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除く。
注3) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

3. 落札率・入札率の状況

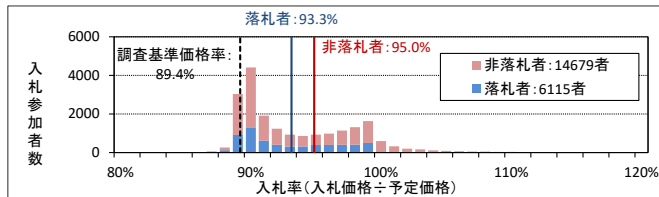
②契約タイプ別

■ WTO技術提案評価型(S型)では、「入札率」の分布が他の契約タイプよりも調査基準価格付近に集中している。

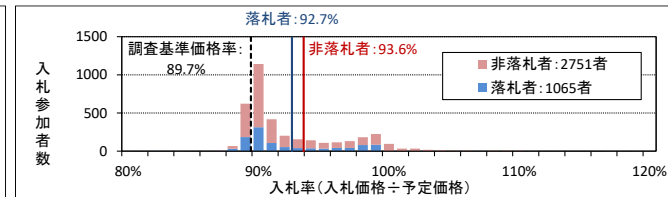
〔全タイプ〕
工事件数:7,606件
平均工事規模(予定価格):217百万円
平均入札参加者数:3.6者



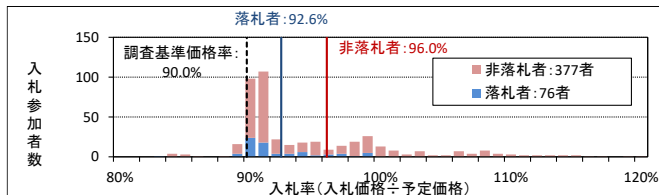
〔施工能力評価型(Ⅱ型)〕
工事件数:6,115件
平均工事規模(予定価格):168百万円
平均入札参加者数:3.4者



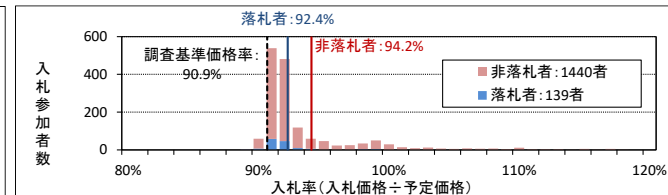
〔施工能力評価型(Ⅰ型)〕
工事件数:1,065件
平均工事規模(予定価格):233百万円
平均入札参加者数:3.6者



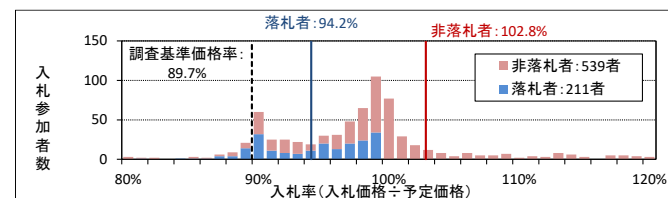
〔技術提案評価型(S型)〕
工事件数:76件
平均工事規模(予定価格):403百万円
平均入札参加者数:6.0者



〔WTO技術提案評価型(S型)〕
工事件数:139件
平均工事規模(予定価格):2239百万円
平均入札参加者数:11.4者



〔価格競争〕
工事件数:211件
平均工事規模(予定価格):159百万円
平均入札参加者数:3.6者



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象
・港湾・空港関係工事
・価格競争
・調査基準価格が設定されていない工事

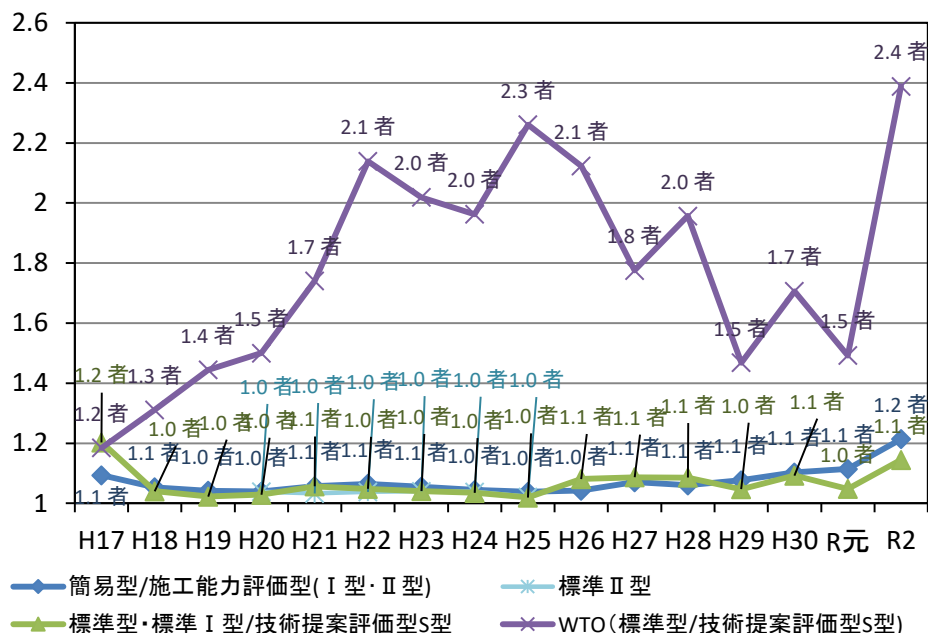
注2) 入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退者を除く。
注3) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

4. 技術評価の状況

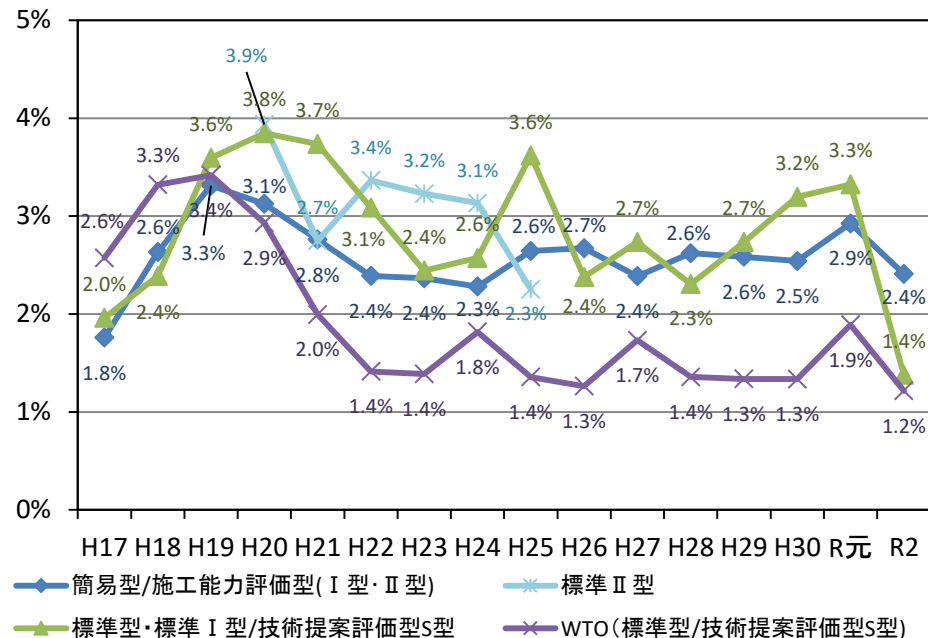
(1) 技術評価点1位と2位の得点率の差・落札者と非落札者の得点率の差〔経年の推移〕

- 技術評価点1位同点者数は、技術提案評価型(S型)で1.1者、WTO技術提案評価型(S型)では2.4者と前年度より増加している。
- 技術評価点1位と2位の得点差は、技術提案評価型(S型)で平均1.4%、施工能力評価型で平均2.4%、WTO技術提案評価型(S型)は平均1.2%で、前年度より減少している。

【技術評価点1位同点者数】



【技術評価点1位と2位の得点率の差】



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象
 ・港湾・空港関係工事 ・価格競争 ・高度技術提案型/技術提案評価型A型
 ・加算方式の試行工事(平成19年度)

注2) 技術評価点の順位は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定

注3) 以下の工事は比較から除いている。
 ・予定価格内1者の案件(「技術評価点1位と2位の得点率の差」の集計)

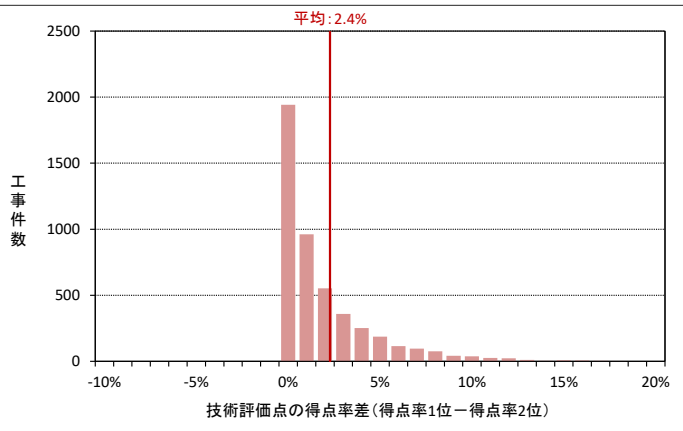
4. 技術評価の状況

(2) 1位と2位の得点率の差の分布〔令和2年度〕

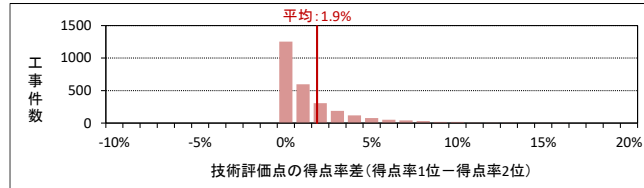
① 工事種別別

■ 一般土木、AS舗装、鋼橋上部、PCにおける「技術評価点1位と2位の得点率の差」の平均は、他の工事種別と比べて小さい。

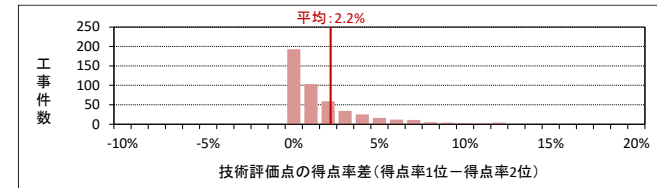
〔全工事種別〕
工事件数: 4,709件
平均工事規模(予定価格): 254百万円
平均入札参加者数: 4.9者



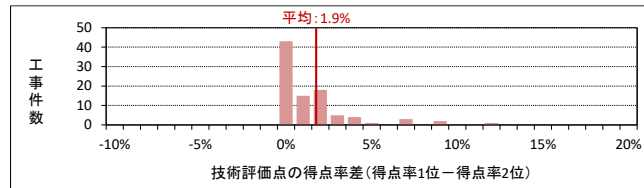
〔一般土木〕
工事件数: 2,722件
平均工事規模(予定価格): 300百万円
平均入札参加者数: 5.5者



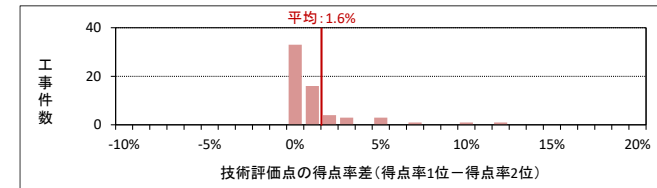
〔AS舗装〕
工事件数: 472件
平均工事規模(予定価格): 181百万円
平均入札参加者数: 4.6者



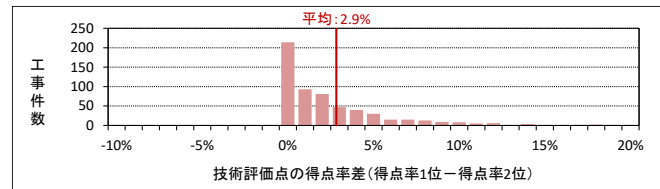
〔鋼橋上部〕
工事件数: 92件
平均工事規模(予定価格): 667百万円
平均入札参加者数: 8.7者



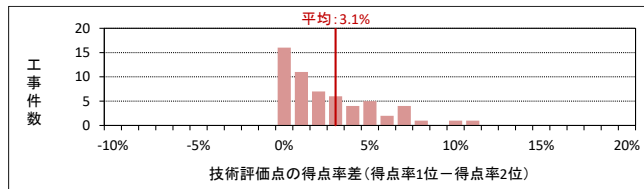
〔PC〕
工事件数: 62件
平均工事規模(予定価格): 458百万円
平均入札参加者数: 5.8者



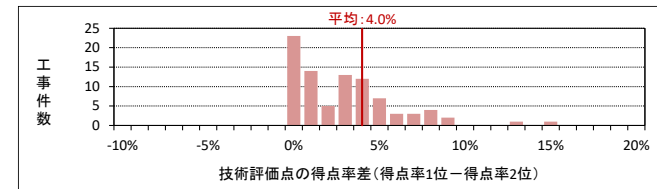
〔維持修繕〕
工事件数: 586件
平均工事規模(予定価格): 143百万円
平均入札参加者数: 3.3者



〔機械設備〕
工事件数: 58件
平均工事規模(予定価格): 186百万円
平均入札参加者数: 3者



〔電気設備〕
工事件数: 90件
平均工事規模(予定価格): 136百万円
平均入札参加者数: 4.1者



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象

- ・港湾・空港関係工事
- ・価格競争
- ・予定価格内1者の案件

注2) 得点率の順位は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。

ただし平均入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除くが予定価格超過者は含む。

注3) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

4. 技術評価の状況

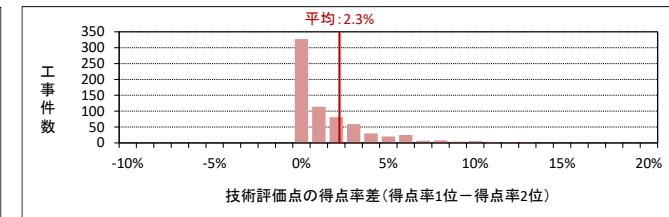
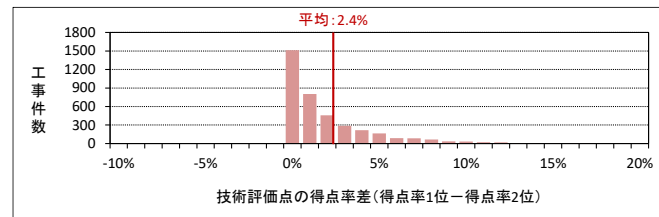
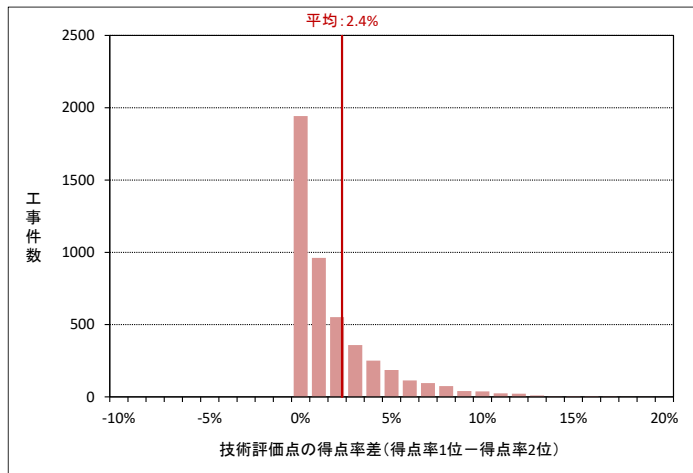
②契約タイプ別

■ 技術提案評価型(S型)とWTO技術提案評価型(S型)における「技術評価点1位と2位の得点率の差」の平均は、他のタイプと比べて小さい。

工事件数: 4,709件
平均工事規模(予定価格): 254百万円
平均入札参加者数: 4.9者
〔全タイプ〕

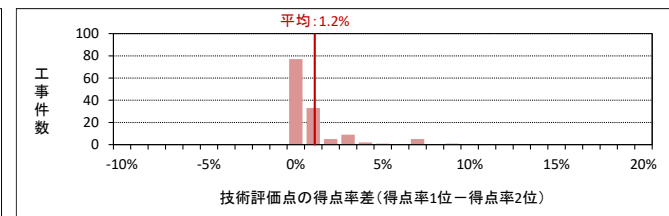
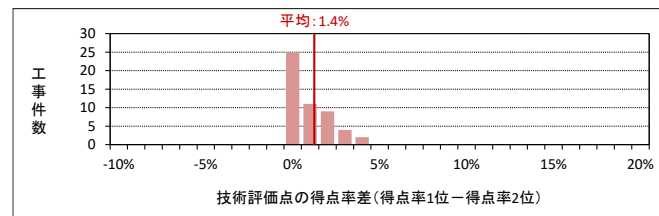
工事件数: 3,828件
平均工事規模(予定価格): 184百万円
平均入札参加者数: 4.7者
〔施工能力評価型(Ⅱ型)〕

工事件数: 697件
平均工事規模(予定価格): 245百万円
平均入札参加者数: 4.8者
〔施工能力評価型(Ⅰ型)〕



工事件数: 51件
平均工事規模(予定価格): 506百万円
平均入札参加者数: 8.2者
〔技術提案評価型(S型)〕

工事件数: 133件
平均工事規模(予定価格): 2225百万円
平均入札参加者数: 11.8者
〔WTO技術提案評価型(S型)〕



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象

- ・港湾・空港関係工事
- ・価格競争
- ・予定価格内1者の案件

注2) 得点率の順位は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。

ただし平均入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除くが予定価格超過者は含む。

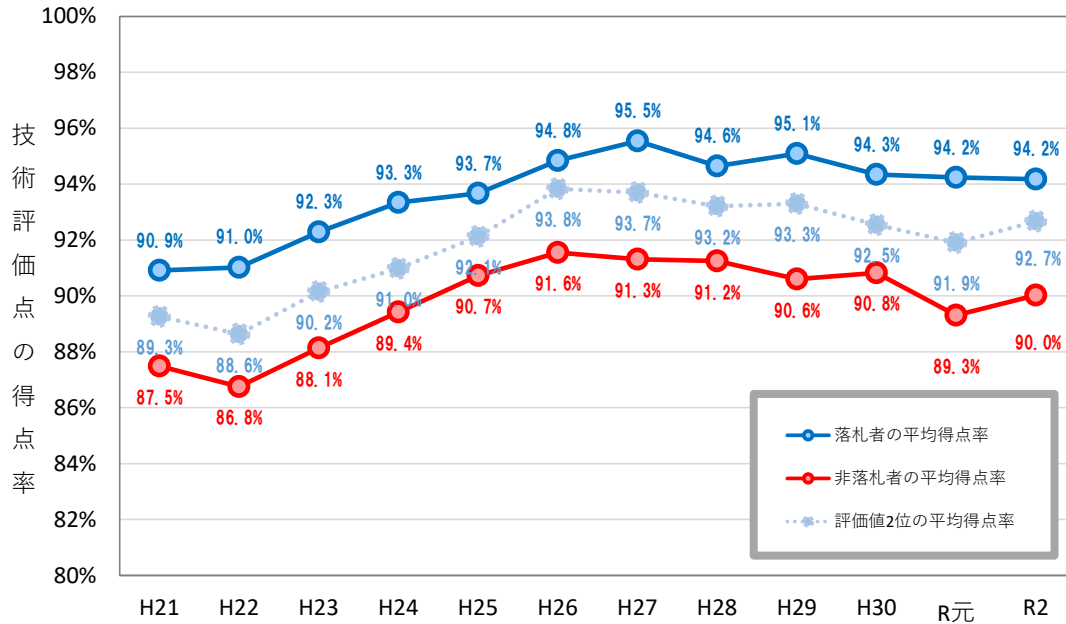
注3) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

4. 技術評価の状況

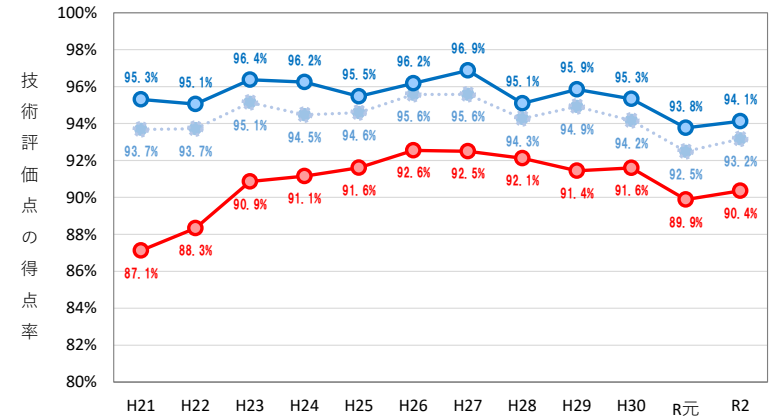
(3) 技術提案評価型S型の技術評価点の推移

■ 技術提案評価型S型においては、落札者と非落札者の技術点差はそれほどついていない。

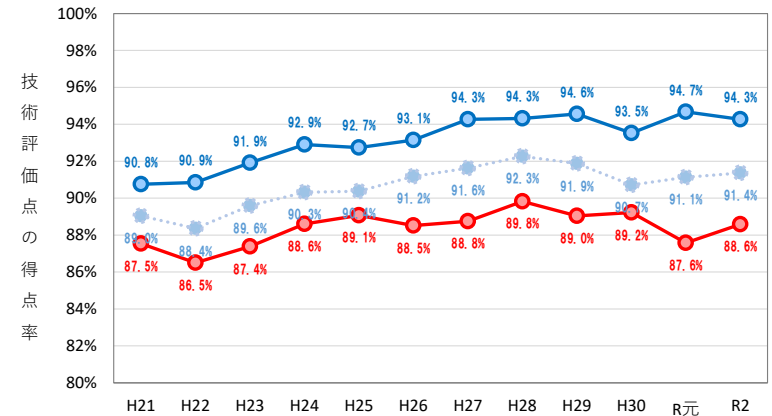
【 技術評価点の得点率 S型全体 】



【 技術評価点の得点率 S型全体 (WTO) 】



【 技術評価点の得点率 S型全体 (WTO対象外) 】



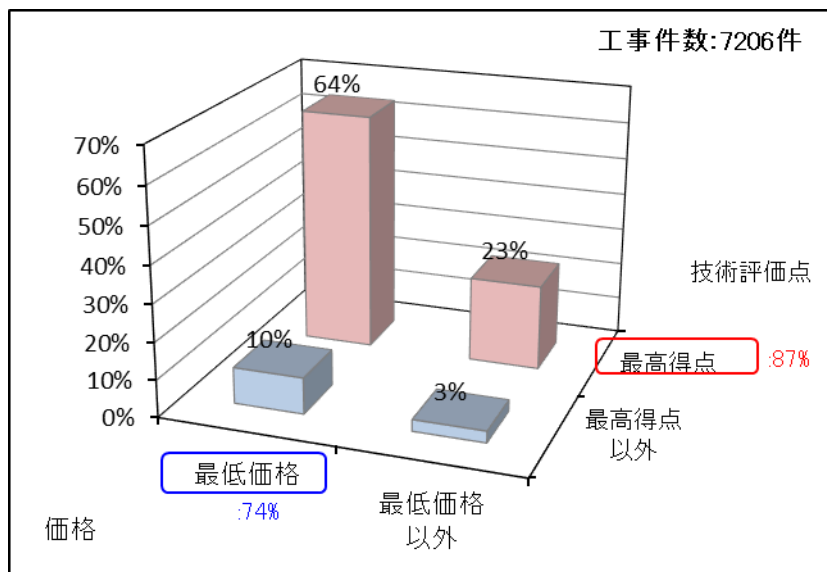
注) 8地方整備局(港湾・空港関係工事を除く)の技術提案評価型S型(標準型含)工事を対象。
非落札者の平均得点率は予定価格内の入札者を対象に算出。

5. 総合評価の特徴

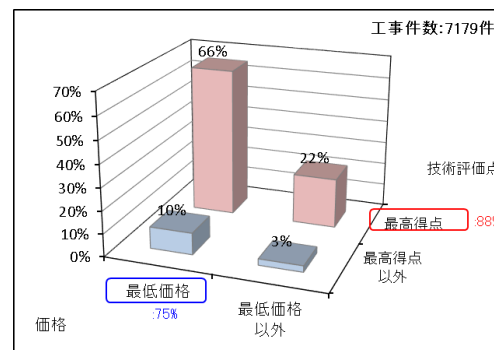
(1) 落札者に占める技術評価点の最高得点者・最高得点者以外、最低価格者・最低価格者以外の割合〔施工能力評価型〕〔経年変化〕

- 落札者に占める「技術評価点の最高得点者の割合」は、令和2年度は87%で令和元年度から1%微減している。
- 落札者に占める「最低価格者の割合」は、令和元年度の75%から令和2年度は74%に微減している。

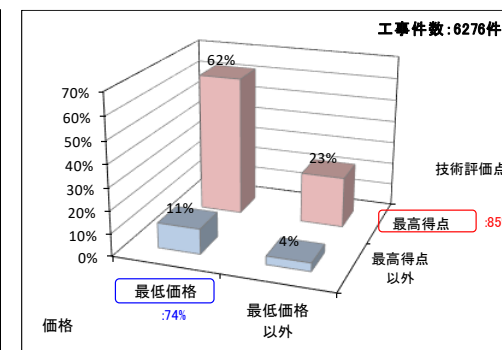
【令和2年度】



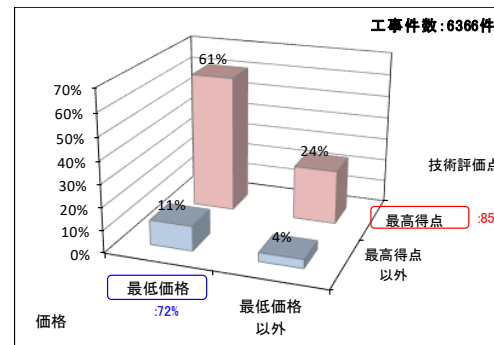
【令和元年度】



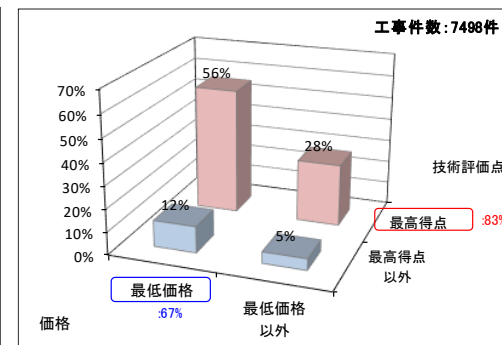
【平成30年度】



【平成29年度】



【平成28年度】



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象
・港湾・空港関係工事 ・価格競争

注2) 施工能力評価型には二極化前の簡易型を含む

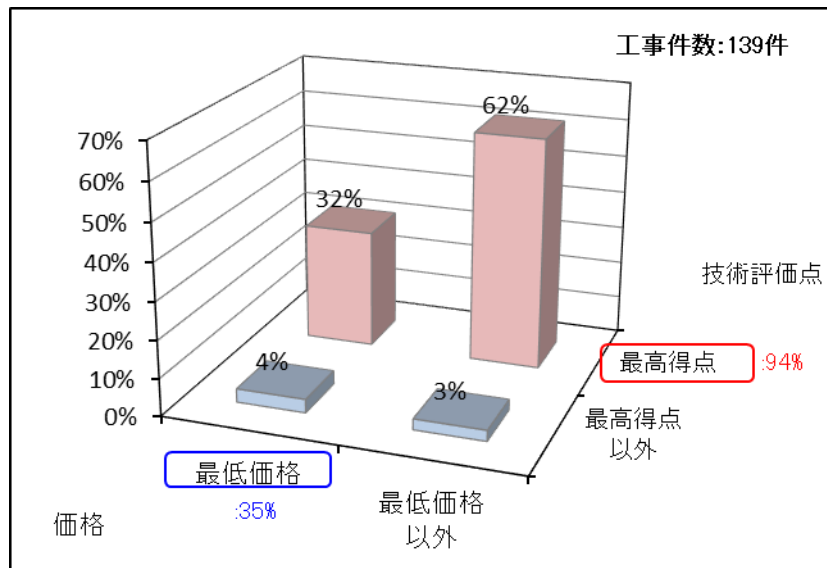
注3) 価格及び技術評価点の区分は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。

5. 総合評価の特徴

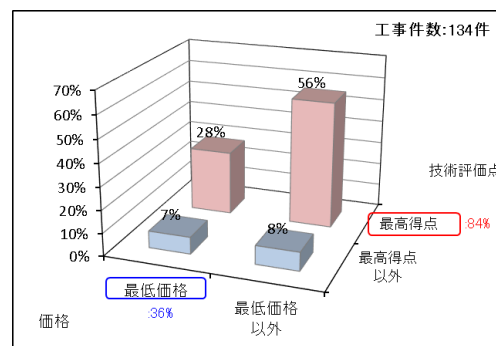
(2) 落札者に占める技術評価点の最高得点者・最高得点者以外、最低価格者・最低価格者以外の割合 [WTO技術提案評価型(S型)] [経年変化]

- WTO技術提案評価型(S型)の落札者に占める「技術評価点の最高得点者の割合」は、平成28年度以降84%~90%で推移していたが、令和2年度は94%であった。
- 落札者に占める「最低価格者の割合」は、令和元年度は35%となっている。

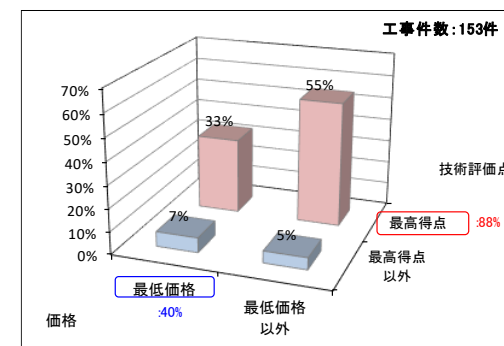
【令和2年度】



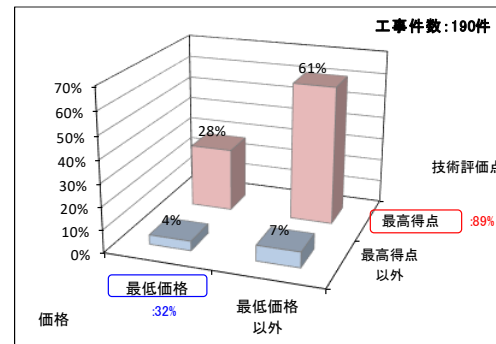
【令和元年度】



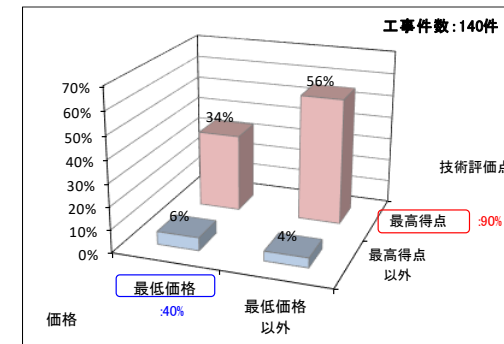
【平成30年度】



【平成29年度】



【平成28年度】



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象
・港湾・空港関係工事 ・価格競争

注2) WTO技術提案評価型(S型)には二極化前のWTO標準型も含む

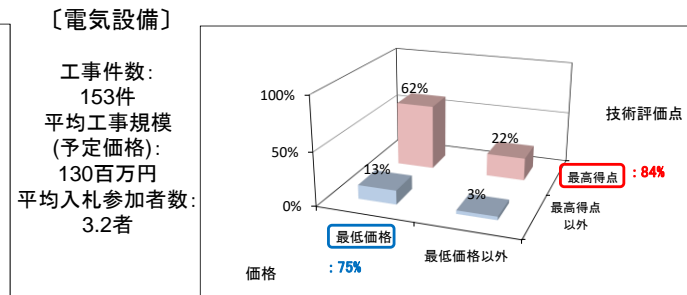
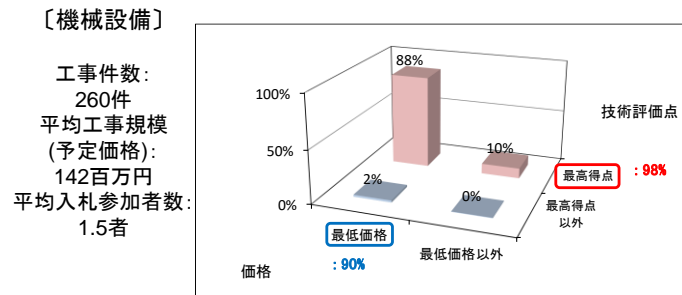
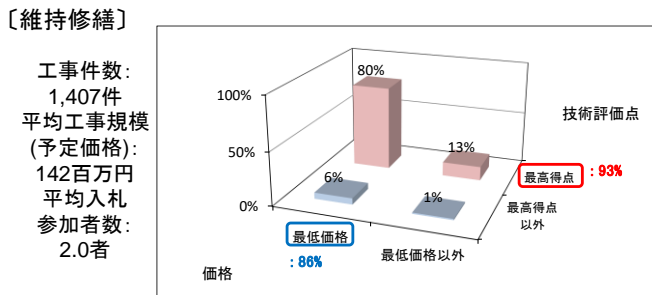
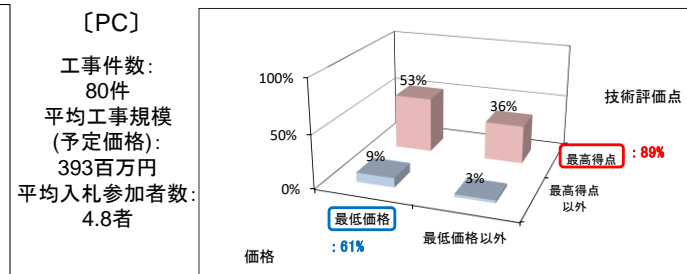
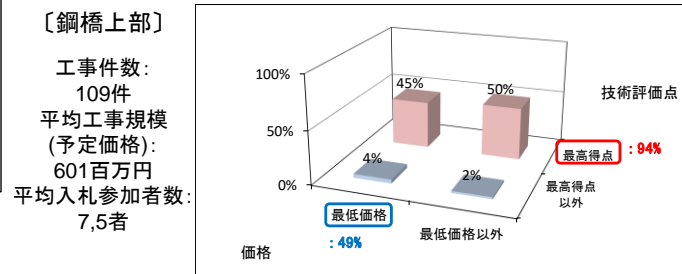
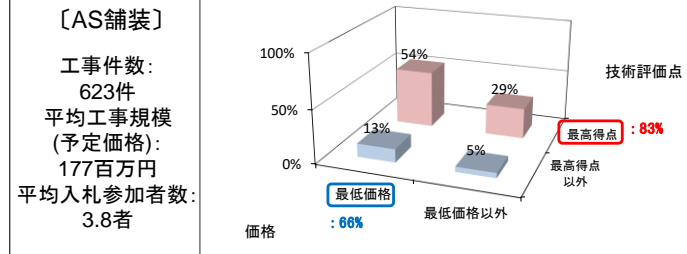
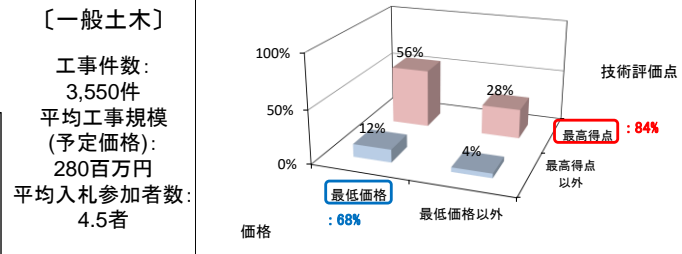
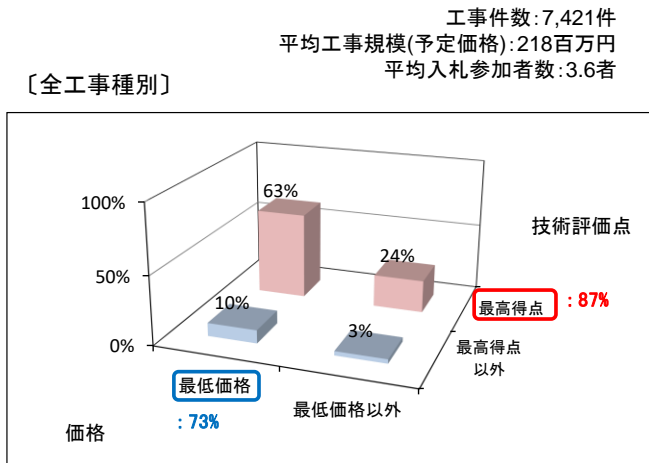
注3) 価格及び技術評価点の区分は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。

5. 総合評価の特徴

(3) 落札者の内訳〔令和2年度〕

① 工事種別別

■ 一般土木、AS舗装、維持修繕、機械設備、電気設備、PCにおける「落札者の内訳」は、最高得点かつ最低価格の者が落札する割合が高く、鋼橋上部では最高得点かつ最低価格以外の者が落札する割合が高くなっている。



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象
・港湾・空港関係工事 ・価格競争

注2) 価格及び技術評価点の区分は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。

注3) 平均入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除くが予定価格超過者は含む。

注4) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

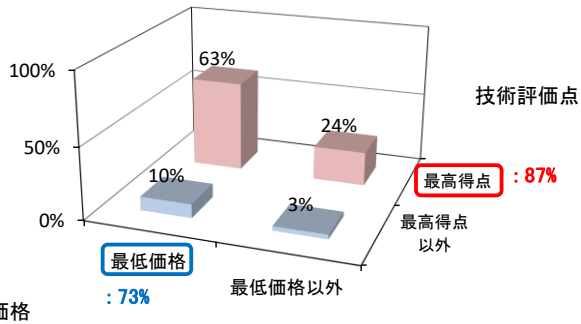
5. 総合評価の特徴

②契約タイプ別

■ 施工能力評価型、技術提案評価型(S型)における「落札者の内訳」は、最高得点かつ最低価格の者が落札する割合が高く、WTO技術提案評価型(S型)では最低価格以外の者の落札が多い。

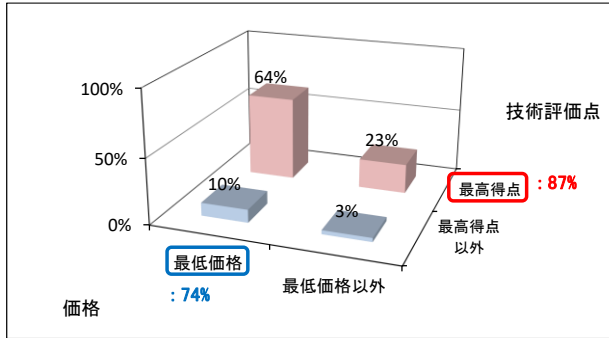
〔全タイプ〕

工事件数:7,421件
平均工事規模(予定価格):218百万円
平均入札参加者数:3.6者



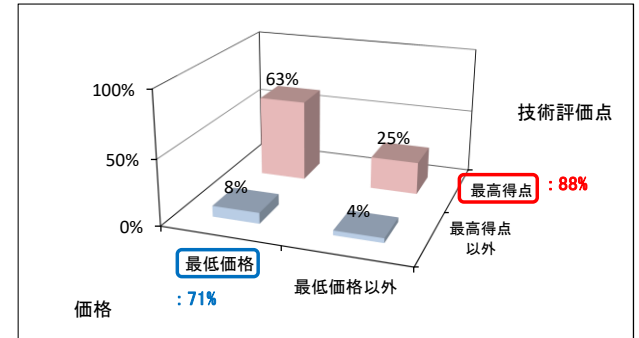
〔施工能力評価型(Ⅱ型)〕

工事件数:6,141件
平均工事規模(予定価格):167百万円
平均入札参加者数:3.4者



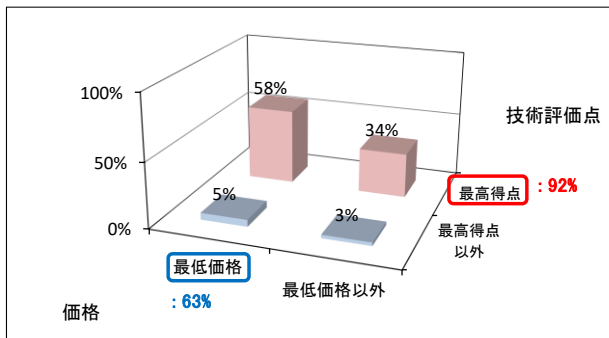
〔施工能力評価型(Ⅰ型)〕

工事件数:1,065件
平均工事規模(予定価格):233百万円
平均入札参加者数:3.6者



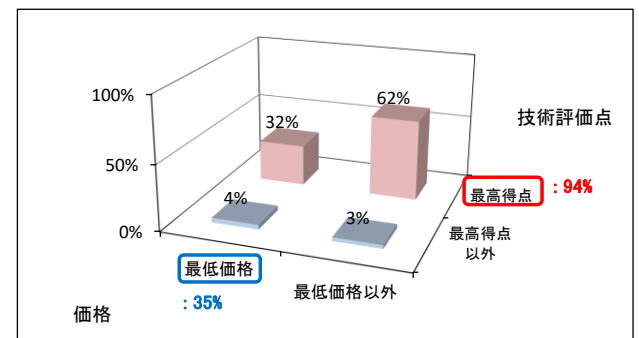
〔技術提案評価型(S型)〕

工事件数:76件
平均工事規模(予定価格):403百万円
平均入札参加者数:6.0者



〔WTO技術提案評価型(S型)〕

工事件数:139件
平均工事規模(予定価格):2239百万円
平均入札参加者数:11.4者



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象
・港湾・空港関係工事 ・価格競争

注2) 価格及び技術評価点の区分は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。

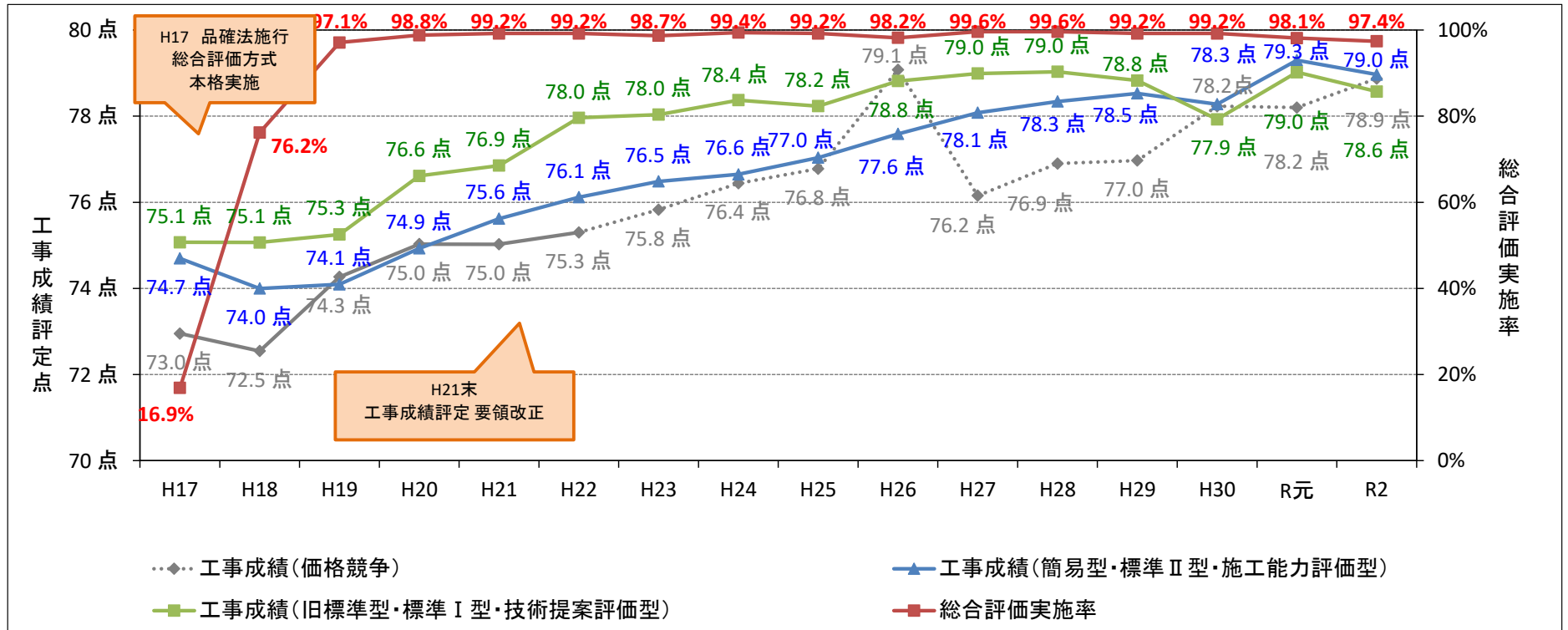
注3) 平均入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除くが予定価格超過者は含む。

注4) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

6. 工事成績評定点の推移

(1) 工事成績評定点の推移

■ 工事成績評定点の平均は、施工能力評価型よりも技術提案評価型が高いが、平成30年度以降は逆転している。



	H17件数	H18件数	H19件数	H20件数	H21件数	H22件数	H23件数	H24件数	H25件数	H26件数	H27件数	H28件数	H29件数	H30件数	R元件数	R2件数
価格競争	7,088	2,385	2,054	827	223	193	76	34	50	77	13	20	33	27	55	62
総合評価(簡易型・標準Ⅱ型・施工能力評価型)	680	4,923	8,269	8,645	8,949	7,643	7,932	7,963	9,129	6,835	6,039	7,340	6,248	5,925	6,468	2,471
総合評価(旧標準型・標準Ⅰ型・技術提案評価型)	378	686	921	725	691	211	255	218	455	378	364	304	429	278	145	7

注1) 8地方整備局の工事を対象 (港湾・空港関係工事を除く)、価格競争を含む。
注2) 注1)の工事のうち、契約データと工事成績データとのマッチングができたものを対象に集計(平成30年度完成分まで)

注3) 各年度の工事件数は契約年度別で整理
注4) 平成26年度完成工事の価格競争には土砂災害の緊急復旧工事が含まれているため、工事成績評定点が高くなっている。